


～安定的な整備人材の確保に向けて～

自動車整備職種における カンボジア人技能実習生の可能性

当社概要

会社名	リネットジャパンHR株式会社	
	* 東証マザーズ上場企業・リネットジャパングループ(株)【証券コード 3556】 100%子会社	
事業内容	外国人技能実習生の提案、配属後定着サポート、オンライン日本語教育	
拠点	名古屋本社（カンボジア通訳者常駐）、東京支社	

【カンボジア 現地グループ】

送出機関名	RENET (CAMBODIA) HR CO., LTD.（外国人技能実習生 送出し機関）	
共同株主	（一社）京都府自動車整備振興会 （一社）滋賀県自動車整備振興会 （一財）近畿陸運協会ほか	

技能実習生制度と特定技能制度

法律改正により、国の政策も外国人受け入れ本格化

2019年4月 入管法が改正。

これまでの「途上国への技術移転」から、日本国の「人手不足対応」へ拡大。

⇒ 今後、5年で34.5万人の受け入れ方針
整備士は7千人受け入れの見込み

※出典元：法務省

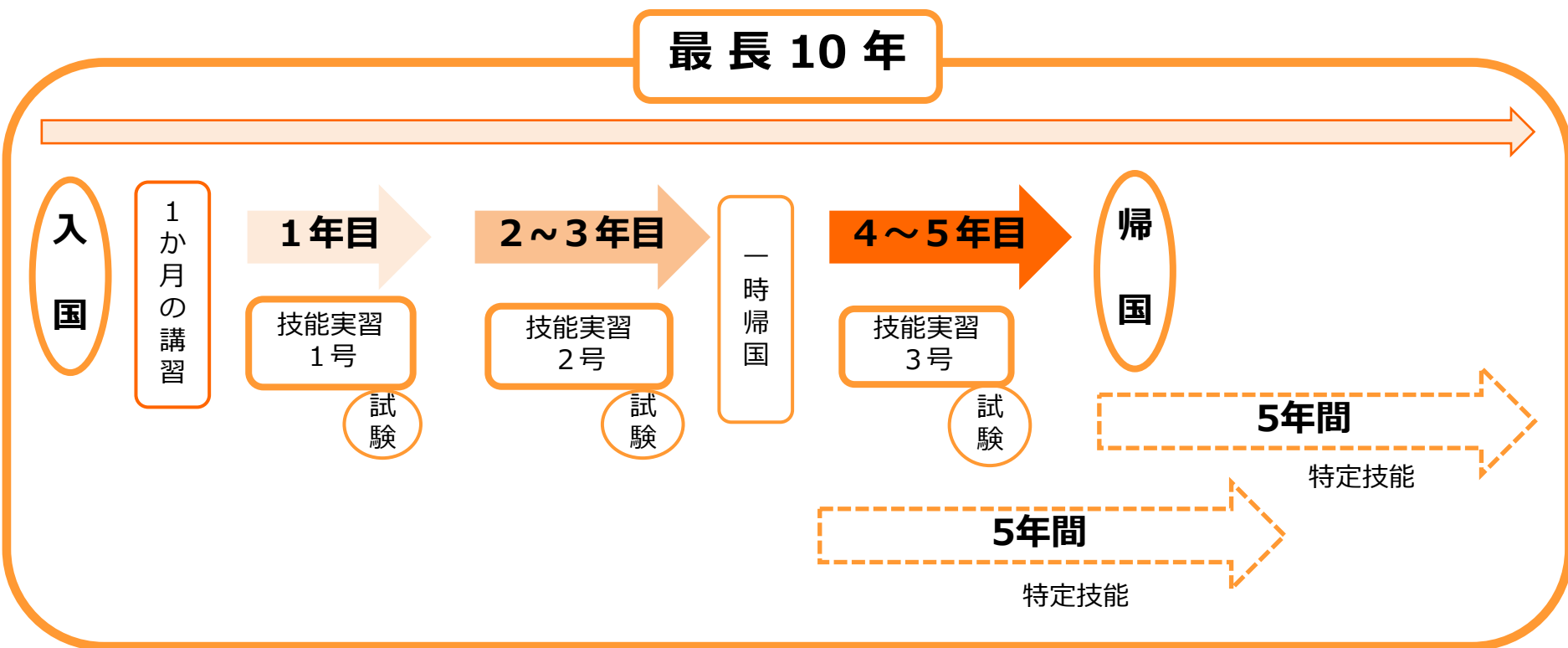
	人材不足の見込み数 (5年後)	外国人受け入れ見込み数 今後5年間(2019~2023年)
外食業	29万人	5.3万人
農業	13万人	3.7万人
宿泊業	13万人	2.2万人
飲食料品製造業	7.3万人	3.4万人
自動車整備	1.3万人	0.7万人
介護	30万人	6万人
他	51.9万人	13.2万人
合計	145.5万人	34.5万人

「技能実習生」から「特定技能」へ

技能実習で日本語能力や整備技能の向上を図り、企業とのエンゲージメントを構築。
その上で、特定技能へ在留資格変更することで長期的な戦力へ。

⇒ 技能実習（最大5年※）と特定技能（5年）の組み合わせで10年の在留が視野に

※但し、企業が優良実施者であることが条件。



現地送出し機関と研修内容

なぜカンボジアなのか？

現在、技能実習生の主流であるベトナムは経済成長と共に国内賃金も上昇中。結果、優秀な人材が日本に来にくい状況に。

⇒ 今後、ポストベトナムの時代へ

<カンボジアの基本情報>



タイとベトナムの間に位置する親日国

- ・首都：プノンペン
- ・人口：1,601万人
- ・中央年齢：24歳
- ・平均月給：201ドル
- ・義務教育期間：6歳～15歳（小学校6年間 / 中学校3年間）
- ・主な宗教：仏教
- ・公用語：クメール語

カンボジア政府・JICAとの連携

送出し事業を運営する会社の中では数少ない、上場会社運営のグループ会社です。
コンプライアンス遵守など、安心できる運営体制を整えています。

また、カンボジア政府・JICA（独立行政法人 国際協力機構）と連携し、現地で自動車整備士養成プロジェクトを展開することにより、優秀な整備士人材を養成しています。



カンボジア労働職業訓練省（MLVT）の高官や
在カンボジア日本大使、JICA職員と並ぶ当社の代表



カンボジア政府から勲章を授与される
当社グループの代表



現地政府立会いのもと開催された自動車整備士養成
eラーニングプロジェクトのオープニングセレモニーの様子



カンボジア労働職業訓練省（MLVT）の高官や
JICA職員、当社関係者と生徒たち

カンボジア政府と提携し、トップレベルの工科大学内 にて研修を運営

カンボジア労働・職業訓練省と提携し、国立工科大学内（NPIC : National Polytechnic Institute of Cambodia）に自動車整備研修センターを設けています。

全校生徒 約4,000名

- ・ **自動車工学 766名（整備士候補）**
- ・ 土木工学 720名
- ・ 機械工学 309名
- ・ 電気工学 869名
- ・ 電子工学 205名 など

2年制／4年制の専門教育を受けた学生をリクルートし、更に日本式の入国前研修を実施



自動車整備に特化した教育・研修体制

現地では日本の整備技術を指導することにより、現場で**即戦力**として活躍できる人材づくりを行っています。

科目

- ① 自動車整備の基礎知識
- ② 安全衛生
- ③ 工具の基礎知識
- ④ 現場で使う日本語
- ⑤ エンジン・シャシの多頻度作業
- ⑥ 点検
- ⑦ テスト



分解整備記録簿 (1年定期点検用整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

エンジン・ルーム点検		足廻り点検	
■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 ファンベルト 冷却装置	■冷却装置 ファンベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ ファンベルト	■ブレーキ・ディスク、ドラム 磨耗 タイヤの磨耗、損傷 タイヤの空気圧 前部、ラジエーターの掃除	■ブレーキ ブレーキパッドの磨耗 ブレーキ油 ブレーキホースの破損 ブレーキマスターシリンダの漏れ
■点火装置 スパークプラグの状態 ディストリビュータのキャップの状態 スパークプラグ	■室内点検 ブレーキペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキ油	■エンジンオイル 油位 油質	■下廻り点検 エンジンオイル トランスミッション、トランスアクスルの油位 油質 駆動軸の緩み、異音 エンジンラジエーター

整備記録簿
(1年点検)

クメール語訳を行い、日本人整備教官が指導

Check Engine room

エンジン・ルーム点検

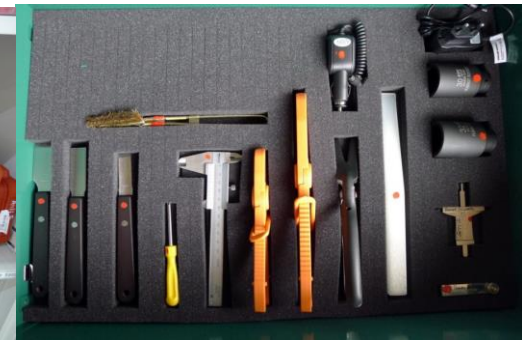
■パワー・ステアリング Power steering ベルトの緩み、損傷 Tension, Cracks, Deterioration	■冷却装置 Cooling water ファンベルトの緩み、損傷 Water leakage ファンベルト
■点火装置 Ignition system ☆ スパークプラグの状態 Spark plug gap, Wenz, Carbon deposit 点火時期 Ignition timing ディストリビュータのキャップの状態 Distributor cap Cracks, Other damages	■室内点検 Check Interior ブレーキペダル Brake pedal 遊び Free play 踏み込んだときの床板とのすき間 Distributor between pedal and floor when depressed ブレーキ油の漏れ Brake oil leakage

JICAの協力を得て、NPIC構内に自動車整備実習場を設置 日本の5Sの考え方なども指導



一目でどこに何があるか見つけられるように設置

- 紛失防止
- 管理をしやすくする
- 作業効率をあげる



本人の経験～入国前研修～配属後実習計画の整合性

配属後、整備現場ですぐになじめるよう、2～4年の自動車整備専門教育を受けた学生をリクルートし、入国前研修で日本式の点検整備作業と多頻度作業および現場で使用する日本語を学びます。入国後、実習生自身が車検作業を行えることが目標となります。

実習生の長期キャリアプラン構築に向けて ～ リネット自動車整備講習カリキュラムと実習計画の関連性 ～



受入企業さまの声

2021年5月現在、中部・近畿を中心とする自動車ディーラー・専業工場・カーショップ様に、カンボジア人技能実習生を200名以上採用いただいています。（2019年より入国開始）

■大型整備工場 I社様（京都府 京都市）

基礎から教える必要がありと思、していました。
工具の使い方等ある程度の知識は身につけておりと
感じました。作業も丁寧です。

■大手カーショップ Y社様（滋賀県 大津市）

意欲的でよく働くので、他のスタッフが
今までできなかったことができる様になった。

■一般整備工場 S社様（京都府 京都市）

会話、意思の伝達に不安があったが、
受け入れ後 全く問題なし

■大手ディーラー H社様（大阪府 和泉市）

意欲がすごいのが、一度教えると
次は自分で取り組んでくれるのが
驚愕的（？）にありがたい

■一般整備工場 M社様（愛知県 東海市）

受け入れ前は不安があった。
受け入れ後は、そのシステムがあった。

■大手カーショップ A社様（滋賀県 草津市）

既存スタッフが人に優しくなった。異文化との
文化交流を通じて日本の文化にも改めて興味が
湧き、気付かされる点が多い。

技能実習生を受入れる際の留意点

技能実習生を受入れる際の留意点

- 計画に沿った技能実習の実施
- 生活指導員の役割
- 労働関係法令、労働・社会保険関係法令の適用
- 法定賃金の支払い
- 労働時間
- 安全衛生管理体制の確立・健康確保の措置、などなど

ただ、現場で本当に必要なのは、



従業員全員で実習生の実習参加目的と本人背景を理解頂くこと



公私にわたる実習生への暖かいサポート



就業姿勢や範囲は具体的に指導すること

循環型人材育成のモデルケースづくりにチャレンジ

当社は、技能実習生が帰国後に整備工場を独立開業できるプランをグループ一丸となって用意し、彼らの夢の実現を応援しています。

